

保護者の皆様へ

熊本市教育委員会
人権教育指導室

新型コロナウイルスに係る偏見や差別を生まないためのご協力をお願い

夏休みを目前にして、熊本県内でも感染の広がりが見られます。保護者の皆様におかれましては、感染に対する不安を強くしておられることと思います。「もし感染したらどうしよう」「まだ治す薬がないのに」「この先感染はどこまで広がるのだろう」など心配の種はたくさんあります。しかし、この感染症に対する不安や恐れが過剰になると、新たな感染が広がっていきます。

その感染とは偏見や差別です。新型コロナウイルスに感染した患者さんやその家族に対する差別、医療関係者やその家族から新型コロナウイルスがうつるのではないかといった根拠のない偏見、発表された一部の情報をもとに「あの人が感染したのではないか」という噂を広げる誹謗中傷などが実際に起こっています。悲しいことですが、このように偏見や差別という感染に取りつかれると、それまで築き上げた人間関係にひびが入ったり、誰かをつらい状況に追い込んだりしてしまうことになります。

不安に思うこと自体は当たり前のことで、決して悪いことではありません。「適切な不安」は感染から身を守ることにつながります。不安の正体は何なのか、心に問いかけ、不安と上手に向き合っていくことが大切です。差別することで不安が解消することはありません。新型コロナウイルス感染症の問題解決にもならないことは皆さんご存じの通りです。私たちに必要なのは、患者さんやその家族の大変さを推し量り相手を思いやること、つまり、相手の立場を想像する力です。学校でも、子どもたちはそのことをしっかりと学び、心がけてきました。

夏季休業期間中、保護者の皆様には、情報を鵜呑みにせず、正しい知識をもとに思いやりと想像力をもって物事をとらえる大切さを、自らの言動を通して、また話し合いをする中で、お子様にお伝えいただきますよう、切にお願いいたします。

